

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・部屋が複数ある為、絶えず人員点呼、安全確認を行い、職員間で連携し、利用者全員に目が届くようにしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			利用者全員に目が届く人数だと思う。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・今の利用者においては、適切になされている。今後、利用者の変動があれば状況に沿うように行っていきたい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・管理者が中心となり、関係する職員皆でしっかり話し合う機会を設けている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・今回初めてアンケート調査を行った。調査を踏まえて業務改善を始めているところである。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			○	・自己評価が今回から導入の為、今後行っていく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・第三者の選定が難しい。適任者がいた場合行っていきたい。

	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・月に2回、全体会議の中でさまざまな角度から考えたテーマで議論する等、情報共有・共通意識に努めている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・アセスメントではニーズを丁寧に聞き取り、ニーズに応えられるよう計画を立てている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		・標準化されたものが全てではないと考えている。状況に応じて柔軟に考え、対応している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・基本管理者が行い、反省時等にチームで意見を出し合い、プログラムの立案を行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・子ども達の様子を見ながら、楽しく過ごせるよう、毎回工夫した内容で行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・皆が楽しく過ごせるよう、毎回創意工夫したプログラムを組んでいる。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・能力に個人差がある為、個別の活動で対応している。また、集団で行う事の利点も多くある為、集団ならではの効果を考えた内容を行う事にも努めている。

15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・毎日、きちんと行き、その日の活動に備えている。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・気付いた点の共有には特に力を入れている。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・記録は毎日しっかり取るよう努めている。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・年に2回面談を行い、ニーズや課題を掘り下げて計画作成を行っている。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○			
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	○			・担当者会議に出席した職員は、内容を持ち帰り、他の職員にきめ細やかに伝え、支援に生かしている。
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		○		・学校側と一部行っている事もあるが、学校側の要望に応じ、基本的には、学校から保護者に、保護者から事業所に連絡をもらっている。

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	・重篤なケアが必要な子どもがないこともあり、保護者経由で連絡を取っている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	・基本的に保護者からの情報提供で把握している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	・相談支援事業所から連絡があった場合のみ対応している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			相談支援事業所の方と連携し、支援方法を検討したり、専門機関の研修を代表者が受け、全体に伝えている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	・現状、必要を感じていないが、様子を見て動けるようにしたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			代表者が参加し、内容を全体に伝えている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・毎回、送迎時に保護者との連絡を密に取り合っている為、共通理解できていると思う。

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	・保護者との信頼関係をしっかり築き、先方が希望されるなら行っていきたい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約時に説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・相談された場合は、真摯に向き合い、チームとしての回答をさせて頂いている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	・特別支援学校の保護者の方は、学校を通して、また育成会等でたくさん連携をされているようなので、以前は行っていたが、今は行っていない。要望があれば、情報共有の場を設けていきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・苦情に対しては、迅速な対応を常日頃から心掛けている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・広報を定期的に発行している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			・個人情報は鍵付きロッカーに入れている。 ・職員同士互いに声を掛け合い、日々注意している。

	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・少しでも問題になるような事があれば、皆で話し合い、改善に向け、動くようにしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	・現状、行っていないが、様子を見て動けるようにしたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	・災害時のマニュアルはあるが、防犯マニュアルや感染症対応マニュアルはない。 ・保護者に周知はできていない為、今後周知していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・毎年時期を決め、全員でしっかり取り組んでいる。 ・救出に特化した訓練も今後行っていきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか			○	・虐待に対する意識を高める為、不定期で行っている。 ・今は充分とは言えない。今後、半年に一回以上、ぜひ行っていきたい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	・共通意識を持っているが、現状事例はない。 ・今後、組織的に決定し、事前に十分に説明し、了解を得ていきたい。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか				○
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・今も行っているが、ヒヤリハットの件数を記載する等、更に今後意識して、継続して行っていきたい。